

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 活動日時     | 1月9日 1月16日 3月4日 |
| クラス名(年齢) | 5歳              |
| 年間テーマ    | 自然              |

## 1、活動テーマ

〈テーマ〉

氷

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

冬ならではの自然現象に興味も持っていたため

## 2、活動スケジュール

霜柱集め、氷作り、雪遊び

## 3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

大きさの異なったバケツ、廃材のカップ、絵の具、筆、パレット、虫眼鏡

## 4、探求活動の実績

〈活動内容〉

園庭の隅に霜柱が出来ていて子どもたちが霜柱集めを始めたことから広げていった。大きさの異なるバケツや廃材で集めていたカップや虫眼鏡を用意し、夕方の帰る前に水を入れて外に置いて仕掛けて置く。氷が出来ていることに気が付き、触るだけでなく氷の中の結晶を虫眼鏡で観察。雪が降った次の日には、用意してあった絵の具を使って雪に色をつけてみる実験を楽しんだ。

子どもの言葉・姿、子ども同士や保育者との関わり

写真

園庭の隅に霜柱を見つけると早速バケツとスコップを自分で取りに行きバケツいっぱい集める。「冷たい」という感覚だけでなく「チクチクして痛い」「よくみると綺麗」と観察をしていた。次は大きさの異なるバケツや廃材のカップに水を張り外に置いてみた。次の日の朝氷が出来ていることに気が付き、氷を触ったり氷から透かしてみたりした。触れているうちに「氷の中にトゲトゲが入っている!」と気が付き、虫眼鏡で観察している子が出てきた。また新しく氷を作るために今度は園庭に落ちている葉っぱを水に入れ置いといたらどうなるのかと試していた。次の日葉っぱが氷の中に入っているのを見て、「きれい!」「なんでー!」などの感想があった。雪が降った日には、園庭の雪を集め、色の氷を作ったのを思い出して「雪に色をつけたらどうなるのか?」と気になった子がいた。絵の具を用意すると、雪に色を塗ったり、色ごとに分け「色がつくと溶けなくなった気がする!」など感じたことを友達同士で話す姿があった。



## 5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

霜柱や雪などの自然現象に興味を持つ子が多かった。氷を凍らすのも冷凍庫などではなく、園庭の隅で凍らしていたのですべて自然でできた氷に子どもたちも不思議そうに感じている子もいた。葉っぱや棒なども一緒に凍らしたらどうなるか実験をしていたので、そこからさらにいろんな廃材(ビーズなど)も準備できたらもっと面白かったと感じた。